ESET PROTECT ソリューション

クライアント管理 クラウド対応オプション Lite(7.2)

利用手順書

第16版

2022年5月25日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目と	欠
1.	はじめに
2.	必要な作業について
3.	事前準備
4.	既存ウイルス対策ソフトのアンインストール【クライアント側作業】14
5.	クライアント端末への展開【管理サーバー側作業】【クライアント側作業】15
6.	クラウドオプション Lite で管理できていることを確認【管理サーバー側作業】52

1. はじめに

- 本書は、法人向けサーバー・クライアント用製品「ESET クライアント管理 クラウド対応オプション Lite(以下、クラウドオプション Lite)」をご利用になるお客さま向けの手順書となります。
- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能および名称が異なっている場合があります。また本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書内の画面イメージは、Windows10 をベースにして作成しております。そのため、OS によっては 記載内容と名称が異なっている場合がございます。
- 本書内の画面イメージは、ESET Security Management Center V7.2 と ESET Endpoint アンチウイルス V7.3 を使用しています。他のプログラムでも導入の流れに違いはございません。各プ ログラムのインストールおよび、アンインストール手順に関しましては、弊社ユーザーズサイトで公開して います、各プログラムのユーザーズマニュアルを参照ください。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- ESET、ThreatSense、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、 ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security for Microsoft Windows Server、 ESET Security Management Center は、ESET,spol. s r.o.の商標です。Microsoft、 Windows、Windows Server、Hyper-V、Active Directory、Internet Explorer、 Microsoft Edge、Outlook、SmartScreen、Windows Live は、米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。 Mac、Mac logo、Mac OS、OS X は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商 標です。
- 本書内で使用される略称については以下の通りです。
 EES = ESET Endpoint Security
 EEA = ESET Endpoint アンチウイルス
 EESM = ESET Endpoint Security for OS X
 EEAM = ESET Endpoint アンチウイルス for OS X
 EEAL = ESET Endpoint アンチウイルス for Linux
 EESA = ESET Endpoint Security for Android
 ESSW = ESET Server Security for Microsoft Windows Server
 EFSW = ESET File Security for Linux
 EFSL = ESET File Security for Linux
 EFSL = ESET File Security for Linux
 ESMC = ESET Server Management Center
 EM Iージェント = ESET Management Iージェント

2. 必要な作業について

ESET クライアント管理 クラウドオプション Lite をご利用いただくにあたり、必要な作業は以下の通りです。 クラウドオプション Lite のご利用の際には、必ず「3.事前準備」をご確認いただき、導入作業の流れ、必 要な情報を確認の上、導入作業を進めるようにしてください。



3. 事前準備

3.1. 動作環境・接続環境の確認

クラウドオプション Lite をご利用になる前に、下記 Web ページにて動作環境をご確認いただき、利用可能な環境をご用意ください。

- ESET PROTECT Entry オンプレミス (旧名称: ESET Endpoint Protection Advanced)動作環境 https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html
- ESET PROTECT Essential オンプレミス (旧名称: ESET Endpoint Protection Standard)動作環境 https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

3.2. 管理可能なプログラムの確認

クラウドオプション Lite では、「ESET Security Management Center(ESMC)」をクラウド上にご用 意して提供させていただきます。

クラウドオプション Lite で管理できる、法人向けサーバー・クライアント用製品のプログラムは以下となります。(2022 年 5 月時点) 対象プログラムとバージョンをご確認のうえ、ご使用ください。

	Window	/S	Мас	Lir	iux	Window	s Server	Linu	ux Server	
	EES/EE	A	EESM/EEAM	EE	AL	EFSW	ESSW %1	EFSL	ESSL	. %2
V7.3	V8.X	V9.X	V6.8 以降	V8.X	V9.X	V7.X	V8.X	V7.2	V8.X	V9.X
0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	×

※クラウドオプション Lite では、モバイルデバイスの管理はできません。

※1 ESSW は EFSW の後継プログラムです。※2 ESSL は EFSL の後継プログラムです。

3.3. 注意事項、および禁止事項について

クラウドオプション Lite をご利用いただくうえでの注意事項、および禁止事項がございます。必ず下記をご 確認のうえ、ご利用ください。

【注意事項】

1	クラウドオプション クライアント用プロ ウド上管理サーバ	 ▶ Lite で使用する通信 グラムを管理するには、 →ESMC の以下のポー 	<mark>言ポートについて</mark> クライアント用プログラムおよび管理画面端末から、クラ -トへ通信できる必要があります。
	•2222/TCP •443/TCP	EM エージェントが ES ESMC が管理画面す に利用	SMC と通信する際に利用 利用端末からの Webコンソールアクセスを受ける際
	•80/TCP •443/TCP	検出エンジンのアップラ クセスを受ける際に利	デート用サーバーがクライアント用プログラムからのア 用
	【HTTP プロキシ約 HTTP プロキシ経 がありますので、ご	経由する場合】 を由で ESMC に EM エ 注意ください。	ージェントを接続する場合は、以下の条件を満たす必要
	・HTTP プロキシ ・HTTP CONN ・プロキシ認証を ・プロキシサーバ	が ESMC で利用する ⁻ IECT メソッドをサポート 必要としないこと(ユー± から、上記ポートへ通信	TLS/SSL 通信(2222/TCP)を転送できること している ザー名/パスワード設定不可) iできること
2	ウェイクアップコー ESMC は ESET ップコールを送信し の条件を満たす必	・ ル(ESMC とクライア) Push Notification S ル即時通信することがす な要があります。	<mark>ントの即時通信)について</mark> Service(EPNS)を利用して EM エージェントにウェイクア 可能です。ウェイクアップコールを利用する場合は、以下
	接続詳細		
	転送セキュリティ		SSL
	プロトコル		MQTT(コンピューター間接続プロトコル)
	ポート		8883
	EPNS サーバー	のホストアドレス	epns.eset.com

- ③ 既定のグループのグループ名変更について クラウドオプション Lite の ESMC では、お客さま用に既定のグループを一つ用意しております。 既定グループのグループ名は、変更しないでください。
- ④ バックアップおよびメンテナンスについて

クラウドオプション Lite サーバー全体のバックアップを毎日 AM2 時~AM4 時で 取得します。バックアップ取得中の数分間、ESMC が停止します。この間にタスクを設定するとタス クが実行されない場合がありますので、本時間内にタスクのスケジュールの指定は行わないようにし てください。

また、クラウドオプション Lite は複数のお客様との共用サーバーのため、お客様環境ごとのバックアップは実施しておりません。

⑤ ESMC 上のログ保存について ESMC が取得するクライアント PC からの各種ログデータについては、6ヶ月間保存します。また、 保存期間を変更することはできません。

【禁止事項】

①EM エージェントの接続間隔について

クラウドオプション Lite の ESMC とクライアント(EM エージェント)の接続間隔は既定で「20 分」 に設定されており、変更することはできません。

②レポートファイルの過度なダウンロードについて

レポートファイルをダウンロードする場合、一日に合計 30MB 以上のダウンロードは実施しないでく ださい。

3.4. 使用できない機能、および機能制限について

クラウドオプション Lite では下記機能がご使用いただけませんのでご注意ください。

	機能名		設定場所
1	レポートの電子メ ールによる送信	レポートを電子メールで送信する機能	[タスク] -[サーバータスク] -[レポートの作成]
2	通知	SNMP トラップサービスや Syslog への送信、電 子メールにより、管理者へメール通史する機能	[通知]
3	EM エージェント 展開	ESET Management エージェントをリモートで 展開する機能	[タスク] -[サーバータスク] -[エージェント展開]
4	静的グループの同 期	AD/VMware/LDAP/Open Directory/Windows ネットワークと連携して、 管理サーバー上に静的グループを自動で作成す る機能	[タスク] -[サーバータスク] -[静的グループの同期]
5	ユーザー作成	ESMC にログインするためのログインアカウント作 成機能(アクセス権の設定)	[詳細]-[ユーザー作成] [詳細]-[権限設定]
6	モバイルデバイス の管理	モバイルデバイス(Android)を追加・管理する機能	-
7	EM エージェントの ローカル展開	ESET Management エージェントのインストーラ ーを用いたインストール	-
8	ピア証明書の 作成	ピア証明書と認証局を作成する機能	[詳細]-[ピア証明書] [詳細]-[認証局]
9	ライセンスの 追加	新規にライセンスを追加する機能	[詳細] -[ライセンス管理]
10	監査ログ	監査ログの作成と閲覧機能	[レポート]-[監査ログ]
11	ユーザー同期	ADと連携しユーザー情報を同期する機能	[タスク] -[サーバータスク] -[ユーザー同期]
12	レポートの作成	サーバータスク機能を利用してレポートをサーバー 上に作成する機能	[タスク] -[サーバータスク] -[レポートの作成]
13	サーバー設定	ESMCの設定変更	[管理] -[サーバーの設定]
14	Rogue Detection Sensor を利用し たコンピューター追 加	Rogue Detection Sensor コンポーネントをイ ンストールし、コンピューターを追加する機能	-

15	右記の「詳細」に 記載されているプ	ESET Inspect (旧名称:ESET Enterprise Inspector)	-
	ログラムとの併用	ESET Full Disk Encryption	-
		ESET LiveGuard Advanced (旧名称:ESET Dynamic Threat Defense)	1

■ クラウドオプション Lite での機能制限について

クラウドオプション Lite では、下記機能をご利用いただくことはできますが、既定で テンプレートが用意されておりません。 ご利用になる場合は、下記を参考にお客さまご自身で作成ください。

	機能名	参考
1	ポリシー	ESET Security Management Center V7.2 ユーザーズマニュアルより 「8.11 ポリシー(P496)」
2	動的グループ (※)	ESET Security Management Center V7.2 ユーザーズマニュアルより 「8.15.1 動的グループテンプレート(P556)」

※動的グループとは、指定した条件(OS など)に合わせて、管理しているコンピューターをリアルタイムに自動でグループ分けするグループ機能です。

3.5. 既に ESET 製品をご利用いただいている場合の移行方法の確認 ご使用されている環境により移行方法が異なります。下記をご確認ください。

(1) 個人向け製品を使用

個人向け製品のプログラムはクラウドオプション Lite で管理することができません。 法人向けサーバー・クライアント用製品のプログラムに入れ替える必要があります。

⇒「3.事前準備」で作業の流れ、必要な情報を確認後、「4.既存のウイルス対策ソフトの アンインストール【クライアント端末側作業】」以降の作業を実施してください。

(2) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 クライアント管理は未実施。

ご利用の法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムが、クラウドオプション Lite で管理可能なプロ グラムの場合、EM エージェントを導入することで、クラウドオプション Lite でクライアント管理を行うことがで きます。

⇒「3.事前準備」で作業の流れ、必要な情報を確認後「5.クライアント端末への展開」にて、【既存お客 様向け】の手順を参照し、クライアント管理を実施してください。

(3) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 ESMC V7(オンプレミス)で管理を実施

クライアントの管理を社内にオンプレミスで構築したESMC V7からクラウドオプション Liteに変更する場合 には、現在インストール済みのEMエージェントをアンインストールし、新たにクラウドオプション Lite用のEM エージェントをインストールすることで、クラウドオプション Liteで提供しているESMCに管理を変更すること ができます。

⇒コントロールパネルのプログラムと機能より「ESET Management Agent」のアンインストールを実施後、 「5.クライアント端末への展開」より【既存お客様向け】の手順を参照し、クライアント管理を実施してく ださい。

クライアントプログラムについても、最新バージョンへのバージョンアップをご検討ください。

(4) 既に法人向けサーバー・クライアント用製品プログラムを使用。 クラウドオプション Lite(ESMC V7.0)で管理を実施

すでにクラウドオプション LiteのESMC V7.0をご利用で、ESMC V7.2にバージョンアップされた場合には、 現在インストール済みの「EMエージェント V7.0」を「EMエージェント V7.2」にバージョンアップする必要 があります。

⇒ESMCのタスク機能を利用し、バージョンアップが可能です。

ユーザーズサイトよりダウンロード可能な「ESET Security Management CenterV7.2 ユーザーズ マニュアル」より「4.2 コンポーネントアップグレードタスク(P155)」を実施してください。 ※本タスクを実行すると、各クライアントからのネットワーク負荷がかかるため台数や時間を分けるなど、 実行タイミングを分散することを推奨します。



現在ご利用中のクライアントプログラムのバージョン確認方法

ESET 製品をご利用の端末で、クライアント端末にインストールされている ESET 製品のバージョンがご不明の場合は、下記 Web ページよりご確認ください。

【プログラムのバージョンの確認方法】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/140?site_domain=business

3.6. ライセンス情報・ログイン情報の準備

クラウドオプション Lite を利用するにあたり以下2種類の情報が必要です。お手元にご用意ください。

(1) ESET ライセンス製品 ライセンス情報

「ESET ライセンス製品」をお申し込みいただいたお客様にメールで、「ESET セキュリ ティ ソフトウェアシリーズ用 ユーザーズサイト ログイン情報のご案内」をお送りして おりますのでご参照ください。

- シリアル番号
- ユーザー名

(2) クラウド対応オプション Lite ログイン情報

「ESET クライアント管理 クラウド対応オプション Lite」をお申込みいただいたお客様へ、 ユーザーズサイトの「ライセンス情報」に下記情報を記載しておりますので、ご参照ください。

- Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL ※下記ユーザーズサイトに記載
- ESMC サーバーの IP アドレス
- ログイン名
- 初回ログインパスワード
- 証明書パスフレーズ

※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載 ※下記ユーザーズサイトに記載

下記弊社ユーザーズサイトにて、ライセンス情報や各種プログラム、資料を公開しております。 ライセンス情報やプログラムの各種設定につきましては、ユーザーズサイトをご参照ください。

■ ユーザーズサイト https://canon-its.jp/product/eset/users/ ※ログイン時に「シリアル番号」、「ユーザーズサイトパスワード」が必要です。

 ユーザーズサイトログイン後、「ライセンス情報/申込書作成」をクリックして ください。
 ※各種資料については、「プログラム/マニュアル」タブよりダウンロードする ことができます。 2. クラウドオプション Lite のライセンス情報、またはログイン情報は、以下をご参照ください。

<u>ア) ESET ライセンス製品 ライセンス情報</u>

アクティベーション情報(プ	ログラムの利用に必要な情報)
以下のプログラムをご利用の場合は、豊	品認証キーとライセンスIDが必要です。
 Windows向けプログラム(パージョ Mac向けプログラム(パージョン6 Android向けプログラム(パージョン6 Linux向けプログラム(パージョン6 	ン7以降) 以降) ン2) 2以降)
製品認証キー	
ライセンスID	
初期ESET License Administrator パスワード (ライセンス所有者パスワード)※	
2022年6月30日をもちまして「ESET Li になります。 なお、以下の作業をおこないたい方は、 ・オフラインライセンスファイルのダ ・手動によるコンピューターのアクテ ※「ESET Business Account」にライ 道入の手順につきましては、FSFT B	cense Administrator」のサービスを終了します。後継サービスは「ESET Business Account」 ESET社が提供するWebサイト「ESET Business Account」をご利用ください。 ウンロード イベーション解除 こンスを登録する際に入力が必要になる場合があります。 usiness Account 間段手順書をご参照ください。

<u>イ) クラウド対応オプション ログイン情報</u>

Vebコンソールのご利用時や、クライアント端末と す。	クラウド上のクラィ	アント管理	用プログラムの接続などに、以下の情 ^報	報が必要で
製品名	ESETクライアン 6-24ユーザー用	・ト管理 クラ	ウド対応オプション Lite	
Webコンソール(管理画面)ログイン用URL	https://!	/era	webconsole	
ESMC サーバー/ERA サーバーのIPアドレス				
ログイン名				
初回ログインパスワード(※)	-			
証明書パスフレーズ				
契約終了日				

【参考】

ユーザーズサイト「プログラム/マニュアル」より、「クライアント用プログラム」→「Windows 向けプログラム」を選択すると、以下のようなダウンロードページが表示され、各種プログラムやマニュアルのダウンロードが可能です。

	Windows向けクライアント用プロ	Iグラム						
V	Vindows環境でご利用になる場合は、以下のクライアン	ト用プログラムをダ	ウンロードして	てください。				
				プログ	グラム	ユーザーズマ	アニュアル	設定に服ます
	プログラム名	リリースノート	変更内容	64bit	32bit	オンラインヘルプ (ESET社提供)	補足資料	注意事項
	ESET Endpoint Security 新パージョン提供開始	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	
	ESET Endpoint アンチウイルス(新バージョン提供開始	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	ダウンロード	<u>256</u>	ダウンロード	-9720-1

4. 既存ウイルス対策ソフトのアンインストール【クライアント側作業】

・他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール

クライアント端末に他社製のウイルス対策ソフトがインストールされている場合は、アンインストールする必要があります。 複数のウイルス対策ソフトの併用は、パフォーマンスの低下やトラブルの原因となります。



他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール方法がご不明の場合は、 下記のWEBページをご参照ください。 【他社製ウイルス対策ソフトのアンインストールについて】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/81?site_domain=business

他社製ウイルス対策ソフトのアンインストール後は、本資料「5.クライアント端末への展開【管理サーバー側作業】【クライアント端末側作業】」へ進んでください。

5. クライアント端末への展開【管理サーバー側作業】【クライアント側作業】

クラウドオプション Lite でクライアント管理を行う手順について、【新規お客様向け】また【既存お客様向 け】に以下2通りの手順を記載しております。

ご利用状況に応じて、以下を参考にクラウドオプション Lite での管理を開始してください。

Mac、Linux 端末への導入については、「B)Mac、Linux 端末への展開(P46)」をご確認ください。

A)Windows 端末への展開



<事前準備>HTTP プロキシを経由する場合【管理サーバー側作業】

各クライアントが HTTP プロキシを経由してクラウドオプション Lite の ESMC に接続する場合は、事前に EM エージェントとクライアントプログラムの両プログラムに対して、HTTP プロキシ経由用の設定をポリシー で作成します。

HTTP プロキシを経由しない場合は、新規または既存お客様向け手順に応じて、オールインワンインスト ーラー作成に進んでください。

以下に、各プログラムのポリシー作成手順を記載します。

【EM エージェント向け、HTTP プロキシ経由ポリシー作成方法】

1. Web ブラウザより、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、[危険性を承知で続行]ボタンをクリックします。

🦺 警告: 潜在的なセキュリティリスクあり	
ー Firefox はセキユゾティ上の連在的な発展を検知したとめ、52.196、136.35 への建模を中止しました。このサイトに訪問すると、文學者が パスワードやメールアドレス、クレジットカードの詳細な情報を送み取ろうとする恐れがあります。	
17-0段明	
戻る(推築) 詳細情報	
ウエブサイトは証明書で同一性を証明します。52.196.136.35 は無効な証明書を使用しているため、Firefox は乙のサイトを信頼しません。 「た信頼しません。 エラーコー ^F : MO <mark>ZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT</mark>	
証明書を確認	
戻る(推奨) 危険性を承知で統行	

※ここでは、ESMC インストール時に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面 アクセス時に上記の注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザによっては、表示内容が異なります。

 「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④[ログイン]ボタンをクリックします。
 ※初回ログイン時、また、パスワード有効期限が切れた場合は、画面の指示に従っ てパスワード変更を行ってください。また、左下の「パスワード変更」から変更 することも可能です。

	eset SECURITY MANAGEMENT CENTER	
	ログイン	
N IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII		WITHIN H
	 ② ▲ ノスワード ③ ● 日本語 マ 	
	 ドメインユーザーとしてログイン マルチタブでのセッションを有効化 	
	 ④ ログイン パスワード変更 	
	ヘルプを開く © 1992 - 2018 ESET, spol. s r.o All rights reserved.	•

3. 「ポリシー」→[新しいポリシー]ボタンをクリックします。



4. 以下を参考に入力し、[続行]ボタンをクリックします。

 名前
 HTTP プロキシ経由ポリシー(EM エージェント)
 説明(任意)
 HTTP プロキシを経由するためのプロキシ設定

耳本	名前	
設定	HTTPプロキシ経由ポリシー (EMエージェント)	
割り当て	2408	
サマリー	1110プロセンを経由するためのプロセンジ史	
	タク ^内 行衆選択	

 「ESET Management Agent」を選択し、「詳細設定」を展開します。 プロキシ設定タイプにて、「グローバルプロキシ」が選択されていることを確認し、左側アイコン で真ん中の「●」を選択します。 グローバルプロキシの「編集」をクリックします。

基本	ESET Management Agent 🗸 🗸	Q 入力すると検索を開始
設定	_	
割り当て	+ 接続	0 • 1
サマリー	+ アップデート	0 • •
	- 詳細設定	0 ●
	HTTPプロキシ	
	○ ● ∮ プロキシ設定タイプ	(0≥7.0) //□-/いレプロキシ ~
	○ ● ∮ グローバリレプロキシ	(e) ≥ 7.0 編集
	○ ● ∮ レプリケーション(ESMCサーバーへ)	(e) ≥ 7.0 編集
	○ ● ∮ ESETサービス(アップデート、パッケージ、テレメトリー)	福集
	ウェイクアップコール	
	○ ● ⁴ UDPv4ポート	1237
	O ● ≯ UDPv6ポート	1238

6. 以下の通り入力し、[保存]ボタンをクリックします。

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
プロキシサーバを使用	有効 にする
ホスト	HTTP プロキシサーバのホスト名または
	IP アドレス
ポート	HTTP プロキシサーバのポート番号
ユーザー名	プロキシ認証に対応していないため設定不可
パスワード	
HTTP プロキシが使用できない場	接続する場合は有効にする
合は直接接続を使用する	

グローバルプロキシ	?	٥x
プロキシサーバを使用		ור
ホスト		
ボート		3
ユーザー名		
パスワード		
	パスワードの表示	
HTTPプロキシが使用できない場合は直接接続を使用する		
	保存 キャン	セル
	were the	

7. 「プロキシ設定タイプ」と「グローバルプロキシ」のアイコンが、真ん中の「●」 であることを確認し、[終了]ボタンをクリックします。

新しいポリシー ^{ポリシー} > httpプロキシ経由ポリシー	EMエージェント)			
基基	ESET Management Agent		Q 入力すると検索を開始	?
蔵 定 割 り 当 て	• 按続			0 • 4
サマリー				0 • 4
	- 詳細設定			② ○● ≁
	HTTPプロキシ			
	○ ● 1 プロキシ設定タイプ	(€) ≥ 7.0	グローバルプロキシ	~
	○ ● 1 グローバルプロキシ	(€) ≥ 7.0	福集	
	• ● ケ レプリケーション(ESMCサーバーへ)	(€) ≥ 7.0	編集	
	Ο ● ∮ ESETサービス(アップデート、パッケージ、テレメトリー)		編集	
	ウェイクアップコール			0
	○ ● ∻ UDPv47t- ト		1237	
	O ● ≠ UDPv67ポート		1238	
	互換性			
	戻る 旅行 其7 キャンセル			

以上で、EM エージェント向け、HTTP プロキシ経由ポリシーの作成は完了です。 本ポリシーは、展開時にインストーラーに組み込むことで適用されます。

続いて、クライアントプログラムが HTTP プロキシを経由するためのポリシーを作成します。

【クライアントプログラム向け、HTTP プロキシ経由ポリシー作成方法】

1. ESMC にログインし、「ポリシー」→[新しいポリシー]ボタンをクリックします。

eser	SECURITY MANAG	EMENT CENTER				₽ ₽
		ポリシー	:	アクセスグループ	選択 🍵	未割り当ての項目を表示 🗸
G		ポリシー	م	名前		ポリシー製品
A		へ すべて				
ala		✓ Ø カスタムポリシー ✓ @ ビルトインポリシー				
ē		0				
<u>i</u>						
۵	ポリシー					
٨						
φ						
ሌ						
		タグ	Q			
		ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま す。				
ŧ			-		新しいポ	【リシー 割り当て マ

 2. 以下を参考に入力し、[続行]ボタンをクリックします。

 名前
 HTTP プロキシ経由ポリシー(クライアント)

 説明(任意)
 HTTP プロキシを経由するためのプロキシ設定

新しいポリシー ^{ポリシー} 〉 HTTPプロキシ経由	ボリシー (クライアント)
** -	2 2 2
基本	
設定	HTTPプロキシ経田ホリシー (クライアント)
割り当て	説明
サマリー	HTTPプロキシを経由するためのプロキシ設定
	タヴ の行い時の
	↓
	戻る 続行 キャンセル

20 / 55

 クライアント OS の場合「ESET Endpoint for Windows」、サーバーOS の場合 「ESET Server Security for Windows Server(V6+)」を選択し、「ツール」→「プ ロキシサーバ」と展開します。

基本	ESET Endpoint for Windows	~	Q、入力すると検索を開始	?
設定				
割り当て	検出エンジン	= プロキシサーバ		0 • 7
サマリー	アップデート	○ ● ∮ プロキシサーバを使用	×	Θ
	ネットワーク保護	○ ● ∮ プロキシサーバ		0
	WEBとメール	○ ● ≠ ポート	3128	
	デバイスコントロール	○ ● ∮ プロキシサーバは認証が必要	×	0
	ツール	○ ● ∮ ユーザー名		0
	プロキシサーバ マロキシサーバ	○ ● ∮ パスワード	パスワードの表示	0
	スペイ プレゼンテーションモード 診断	 ○ ● ∮ プロキシが使用できない場合は直接接続を使用する 	(E) ≥ 6.4	
	ユーザーインターフェース 上書きモード			
	戻る 続行 終了 キ	ヤンセル		

4. 以下の通り入力します。

プロキシサーバを使用	有効 にする
プロキシサーバ	HTTP プロキシサーバのホスト名または
	IP アドレス
ポート	HTTP プロキシサーバのポート番号
プロキシサーバは認証が必要	プロキシ認証に対応していないため設定不可
ユーザー名	
パスワード	
プロキシが使用できない場合は直	接続する場合は有効にする
接接続を使用する	

基本	ESET Endpoint for Windows	~	Q、入力すると検索を開始	?
<u>設定</u> 割D当て	検出エンジン	プロキシサーバ	3 0 (• *
#211-	アップデート	○ ● ∮ プロキシサーバを使用	✓	0
989	ネットワーク保護	 ● ∮ ブロキシサーバ 		0
	WEBとメール	○● ≁ ポート		
	デバイスコントロール	○ ● ∮ プロキシサーバは認証が必要	×	0
	ツール	○ ● ∮ ユーザー名		
	ログファイル プロキシサーバ 3	○ ● 	パスワードの表示	0
	通知 プレゼンテーションモード 診断	○ ● チ プロキシが使用できない場合は直接接続を使 用する	@≥64	
	ユーザーインターフェース 上書きモード	_		
	戻る 続行 終了 キ	マンセル		

5. 「プロキシサーバを使用」「プロキシサーバ」「ポート」のアイコンが、真ん中の「●」であることを確認し、 [終了]ボタンをクリックします。

基本	ESET Endpoint for Windows	~	Q、入力すると検索を開始	?
設定	検出エンジン	 プロキシサーバ	3 ○ ● ≠	
サマリー	アップデート	○ ● チ プロキシサーバを使用		0
	ネットワーク保護	○ ● ∮ ブロキシサーバ		0
	WEBとメール	○ ● ≠ ポート		
	デバイスコントロール	♪ ● チ プロキシサーバは認証が必要	×	0
	ツール	 O ● + ユーザー名 		0
	ログファイル プロキシサーバ	 ○ ● ケ パスワード 	パスワードの表示	0
	通知 プレゼンテーションモード 診断	○ ● ← プロキシが使用できない場合は直接接続を使用する	(2)≥ 6.4	
	ユーザーインターフェース 上書きモード	_		
	戻る 統行 終了	キャンセル		

以上で、クライアントプログラム向け、HTTP プロキシ経由ポリシーの作成は完了です。 本ポリシーは、展開時にインストーラーに組み込むことで適用されます。

続いて、新規、もしくは、既存環境に応じて、オールインワンインストーラーの作成・実行に進んでください。



ポリシーの作成について、詳細は以下 Web ページもご参照ください。 【ESET Security Management Center V7を利用して、新しいポリシーを作成する手順】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11854?site_domain=business A-1-1. オールインワンインストーラーの作成【管理サーバー側作業】

クラウドオプション Lite でクライアントの管理を行うためには、ESET クライアント用プログラムに加えて、EM エージェントのインストールが必要です。管理サーバーでは、EM エージェントと ESET クライアント用プログ ラムを一つにまとめたインストーラーパッケージ「オールインワンインストーラー」を作成することができます。

以下に、オールインワンインスト―ラーの作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、[危険性を承知で続行]ボタンをクリックします。

4	警告: 潜在的なセキュリティリスクあり
_	Firefox はセキュリティ上の軍在的な発展意味知したため、52.966.136.35 への理視を中止しました。このサイトに訪問すると、攻撃者が パスワードやメールアドレス、クレジットカードの詳細な情報を盗み取ろうとする恐れがあります。
	15-0說明
	東る(復美) 詳細情報
	ウェブサイトは証明書で同一性を証明します。52.196.136.35 は無効な証明書を使用しているため、Firefox はこのサイトを信頼しません。 エラーコード: MOZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT 証明書を確認
	戻る (標獎) 危険性を承知で続行

※ここでは、ESMC インストール時に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面 アクセス時に上記の注意画面が表示されます。
※お使いのブラウザによっては、表示内容が異なります。 2. 「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④[ログイン]ボタンをクリックします。 ※初回ログイン時、また、パスワード有効期限が切れた場合は、画面の指示に従ってパスワード変更を行ってください。また、左下の「パスワード変更」から変更することも可能です。

eset SECURITY MANAGEMENT CENTER	
ログイン	
 ③ ● 日本語 	
 ドメインユーザーとしてログイン マルチタブでのセッションを有効化 	
④ ログイン パスワード変更	1 2 - 1
ヘルプを開く ◎ 1992 - 2018 ESET, spol. s r.o All rights reserved.	

3. 「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「オールインワンインストーラー」をクリックします。



4. 「セキュリティ製品」にチェックを入れ、[続行]ボタンをクリックします。 ※ここで「完全ディスク暗号化」にチェックを入れないようご注意ください

オールインワンインストーラ インストーラー > オールインワンインス	ラーの作成 トーラーの作成
 基本 	 ② 製品改善プログラムに参加する 1 有効にすると、クラッシュレポート、およびOSパーションやタイブ、ESET認品 パーション、および他の製品回有の情報といった臣名のテレメトリーデータを ESETに送信しています。 アムワージの内容 ※ 管理ニーシェント ※ 管理ニーシェント ※ さュリティ製品 一 完全ディスク暗号化
	戻る 終行 終了 キャンセル

5. 「ライセンス」にライセンスが登録されていることを確認します。ライセンス情報をオールインワンイン ストーラーに組み込まない場合は、「×」をクリックすることでライセンス情報を削除できます。

インストーラー 〉ESET Endpoint S	←
基本	✓
▲ セキュリティ製品	×
証明書	
▲ 詳細	製品/バージョン
ダウンロード	ESET Endpoint Security: windows (WINDOWS)のパージョン7.3.2039.1、言語ja_JP
	言語 💿
	日本語
	設定ポリシー
	選択
	▲ エンドユーザーライセンス契約
	アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーボリシーを確認します。
	反る 統行 純了 キャンセル

6. 「製品/バージョン」より、インストールしたいクライアント用プログラムを選択します。

本	✓ ライセンス									
キュリティ製品			×							
5明書 4細 グウンロード	製品/パージョン ESET Endpoint Security: windows (W/NDOWS)	のバージョン7.3.2039.1、言語ja」9								
	言語 日本 市 ✓ 協定# リシーー 調印	項目を選択してください レガシー 05タイプ + ARR	▼) 23 0+8 × 1	7 X 7 <i>119</i> 0	840					プリセット
	▲ エントユーザーライセンス契約	ソフトウェアファミリー	1893 S	バージョン	05タイプ	os	32.0H		衰速ログ	EULA
	ア リケーションのエンドユーザー使用	ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	6.5.2132.6	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://rep	http://ep
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	6.6.2089.1	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://www	http://wp
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	6.6.2095.1	wind	WIND	ESET	ja,IP	http://rep	http://wp
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	7.0.2120.1	wind	WIND	ESET	ia_JP	http://req	http://reg
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	7.1.2053.1	wind_	WIND	ESET	ja,JP	http://rep	http://wp
	展 載行 総子	ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Antivirus	7.3.2039.1	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://reg	http://rep
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Security	6.5.2132.6	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://reg	http://eg
		ISET Endpoint Security	ESET Endpoint Security	6.6.2089.1	wind	WIND	1517	ja,#	http://wp	ътру/мр
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Security	6.6.2095.1	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://reg	http://ep
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Security	7.0.2120.1	wind	WIND	ESET	ja,JP	http://rep	http://wp
		ESET Endopint Security	ESET Endpoint Security	7.1.2053.1	wind	WIND	ESET	ia_JP	http://reg	http://reg
		ESET Endpoint Security	ESET Endpoint Security	7.3.2039.1	wind	WIND	ESET	ja_JP	http://req	http://reg

7. ①「言語」で「日本語」を選択します。
 ②既存のポリシーを適用させて、クライアント端末にインストールする場合は「設定ポリシー」から、事前に作成したポリシーを選択します。
 ※HTTP プロキシを経由する場合はこちらを選択します

オールインワンインストー インストーラー 〉ESET Endpoint Securi	ラーの作成 ^{5y (g} JP)					
基本 ▲ セキュリティ編品 出版書 ▲ 詳細 ダウンロード	 ✓ ライセンス 製品/バージョン EXIT Expert factor andres (PMDCMUS) 画面 ① 日本語 ~ 200 第本切り>- 200 	<u>バージェン137</u> 751、第556g/P				
	ュ	項日を選択してください			⊅গ্রান⊽	× • •
	反6 MT NT	XU >BLQ INIT Inspont for Windows ESTI Endpoint for Windows ESTI Endpoint for Windows I ESTI Endpoint for Windows ESTI Endpoint for Windows ESTI Endpoint for Windows ESTI Endpoint for Windows	 RM ファイアウォール - ISONC & ILI接続支援く 金川 ・パランス卓能 デバイスコントロール - 留大阪のドキュリ デバイスコントロール - 認み取り算用 クラウドベースのレビュアーションればし 	97	30時 1531 Sandy Mangement Centre含までMs. 細胞レベルの使きな違う。ステータスとき。 マイモのディイスがブロックタイます、デー マイモのディイスが使み取り無可です。卓. 1551 LineSult タック・ドイースのレビュアー	8
	L,	EST Endpoint for Windows	ログ・日本お日ログ ログ・日本お日ログ ログ・日本の日ログ ウイルス対策・ペストのやたれ力 ウイルス対策・パランス重要 実示・非常素モード テニート テニート フログログルターグのープン		このデンブレートは、お参い場所に、制用。 ポリシーは、雪茄、オラー、意大なイベン。 単数学習、評評的作品は、ペロフィルタリ。 なんとなり取るに進発されるビネコリティ。 雪瓶、アラート、GAIのコンテキストメニ。	
		SST Endpoint for Windows	HTTPプロキシ州由ポリシー(クライアン。		HTTFプロキシャが出するためのプロキシ のK キャ:	2401

8. 「エンドユーザーライセンス契約」の「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」にチェックを入れ、[続行]ボタンをクリックします。

オールインワンインス インストーラー 〉オールインワン	トーラーの作成 >イ>ストーラーの作成
基本	✓ ライセンス
セキュリティ製品	×
証明書 ▲ 詳細 ダウンロード	製品/バージョン ESET Endpoint Antivirus: windows (WINDOWS)のパージョン7.3.2039.1、言語ja_JP 言語 ③ 日本語 設定ポリシー HTTPプロキシ経由ポリシー(クライアント) ×
	 エンドユーザーライセンス契約 アプリケーションのエンドユーザー使用許法契約の条項に同意し、ブライバシーボリシーを確認します。 戻る 続行 終了 キャンセル

- 9. ①「ESMC 証明書」が選択されていることを確認します。 ②ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 - ※~まで有効。の「~」の部分が使用している証明書の有効期限です。 有効期限のおよそ3か月前に、弊社側で有効期限が先の日付となる新しい証明書を作 成します。有効期限を超過した証明書を使用した Agent は ESMC に接続できないため、 リンクをクリックして、有効期限が先の日付の新しい証明書(【グループ名】の Agent 証明 書-2)が存在する場合はその証明書を選択してください。
 - ③「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。
 - ④[続行]ボタンをクリックします。

	基本		ピア証明書
	セキュリティ製品	1	● ESMC証明書
	証明書		○ カスタム証明書
▲	詳細	2	ESMC証明書
	ダウンロード		
	(3	気明書 パフフリー ブ ①
		L	
			証明書パスフレーズを表示
			検了 キャンセル

10. ①「名前」に任意のインストーラー名を入力します。 ※「説明」の入力は任意です。

②「親グループ(任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されている既定のグル ープを必ず選択してください。

③[ESET AV Remover を有効にする]に**チェックが入っていない**ことを確認します。チェック が入っていた場合は外してください。





「親グループ(任意)」を選択しないと、クライアントが管理サーバーに表示されません。必ず選択を お願いいたします。 また、親グループに「すべて」を選択することはできません。

11.「インストーラーの初期設定」の「設定テンプレート」では、以下を参考に設定します。

設定しない	既定の設定から変更せずに、クライアント端末にインストールする場 合
ポリシーのリストから設定	既存のポリシーを適用させて、クライアント端末にインストールする場合
を選択	※HTTPプロキシを経由する場合はこちらを選択します。





新しいポリシーを作成する場合は、下記の WEB ページをご参照ください。 【ESET Security Management Center V7 を利用して、新しいポリシーを作成する手順】 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/11854?site_domain=business

 ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の 準備」で確認した「ESMC サーバーの IP アドレス」を入力してください。
 ②「ポート」にポート番号「2222」が入力されていることを確認します。
 ③[終了]ボタンをクリックします。

	1 組み込んだ初期段定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。
基本	
セキュリティ製品	設定テンプレート
証明書	● 設定しない
E¥細	○ ポリシーのリストから設定を選択
	エージェント設定(任意)
99 90 -r	HTTPプロキシ経由ポリシー(EMエージェント) ×
(サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)
	クライアントから接続できるサーバーのホスト名を入力します。空白の場合は、サーバーのホスト名が使用されます
	ポート
(2222
	HTTPプロキシ設定
	│ HTTPプロキシ段定を有効にする
	ス 続行 3 終了 キャンセル

13. インストールするクライアント端末の環境にあわせて、「32bit 版をダウンロード」または「64bit 版 をダウンロード」をクリックします。

Γ				
	基本		32bit版をダウンロード 64bit版をダウンロード	
	セキュリティ製品			
	証明書			
	詳細			
	ダウンロード			
	ご利用のネットワーク環境によ	いて、	、オールインワンインストーラーのダウンロードに時間がかかる塩	易合
4	かあります。 プログレスバーが動かない場合 さい。	含でも	。、プログラムのダウンロードを行っていますので、しばらくお待ち	5くだ

14. ファイルの保存を促す画面が表示されたら、任意の保存先を指定してインストーラーを保存します。 ※ファイル名は、32bit 用のオールインワンインストーラーの場合

「ESMC_Installer_x86_ja_JP.exe」、64bit 用のオールインワンインス

トーラーの場合「ESMC_Installer_x64_ja_JP.exe」です。

	リボジトリからインストーラーをダウン ラーを準備しています 売了	ロードしてオールインワン・	× 4、く るり服		
ESMC_Installer_x64_ja_JP い。 場所:	.exe (205 MB) について行う操作を選んでくださ	実行	保存	へ キャンセル	×

15. 以下の画面が表示されたら、[実行しない]ボタンを選択してください。

Windows によって PC が保護	されました
Windows Defender SmartScreen は認識されないアプリの と、PC に問題が起こる可能性があります。	却動を停止しました。このアプリを実行する
アプリ: ERA_Installer_x64_ja_JP.exe 発行元: 不明な発行元	
	実行 実行しない
	閉じる

※アプリ名はダウンロードするインストーラーによって異なります。

16. 終了したら[閉じる]ボタンをクリックします。

×
リポジトリからインストーラーをダウンロードしてオールインワンインストー ラーを準備しています 完了
閉じる

以上でオールインワンインストーラーの作成は完了です。 手順 14 で指定した場所に、オールインワンインストーラーが保存されていることを確認し、クライアントに配 布してください。 A-1-2. オールインワンインストーラーの実行【クライアント側作業】

オールインワンインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェントと ESET クライアント用プロ グラムをインストールします。

以下にオールインワンインストーラーの実行手順を記載します。

1. オールインワンインストーラーを右クリックより、「管理者として実行」をクリックします。



2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。

ユーザー アカウント制御 この不明な発行元からのフ 加えることを許可しますか?	× ?プリがデバイスに変更を ,
ESMC_Installer_x64_ja_JP.e 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター 詳細を表示	exe 上のハード ドライブ
はい	いいえ

3. 以下の画面が表示され、アプリケーションが起動します。

ションを準備しています
•

4. [続行]ボタンをクリックします。



5. 「保護の設定」画面で、以下を参考に設定し、[インストール]ボタンを クリックします。

ESET LiveGrid フィードバックシステムを有 効にする	チェックを入れると、本プログラムが新しい脅威を発見した場合に ESET 社へその情報を提出します。
望ましくない可能性のあ るアプリケーションの検出	望ましくないアプリケーションの検出有無を選択します。 ※ESET 製品は「不審なアプリケーション」を「望 ましくない可能性のあるアプリケーション」とし て検出します。

	- X
PACKAGE	保護の設定
installer ようごそ インストール 完了	さらに強化されたセキュリティを実現できるように支援してください。 ESET LiveGrid®フィードバックシステムでは、世界中の1億以上のセンサーを使用します。これにより、ESETが不審 なオブジェクトの情報を収集できます。これは自動的に処理され、ESETのクラウドレビュテーションシステムで検出メ カニズムを作成します。これらはただちに適用され、ESETユーザーが最大レベルの保護を得られることを保証しま す。 ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする(推奨) Gate Control にない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができます。望ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、インストールする前に確認を求めることができます。望ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、す。 の 望ましくない可能性があるアプリケーションを検出し、そのではない場合がありますが、コンピューターのパフォーマンスや速度及び信頼性に影響したり、動作の変更を引き起こす可能性があります。常に望ましくない可能性のあるアプリケーションを検出し、 の 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を無効にする
	インストールフォルダの変更

6. 「インストール成功」画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックして ください。



7. タスクトレイの ESET アイコンをダブルクリックし、ESET のメイン画面が 開きます。



8. 「アップデート」より、検出エンジンのアップデートが自動で開始され、「前回の成功したアップデート」に現在の時刻が入っていることを確認してください。 ※初回アップデートが完了すると、コンピューターの検査が開始いたします。

(eset) ENDPOINT ANTIV	IRUS	- 🗆 X
✔ 現在の状況	アップデート	?
Q、コンピューターの検査 ④	ESET Endpoint Antivirus	7.2.2020.4
Ç アップテート	♥ 現任のハーション:	7.5.2039.1
议 設定	前回の成功したアップデート:	2020/10/14 17:52:35
亡 ツール	すべてのモジュールを表示	
⑦ ヘルプとサポート		
ENJOY SAFER TECHNOLOGY ^M		○ 最新版のチェック 🕔 アップデート頻度の変更

以上でオールインワンインストーラーの実行は完了です。 続いて「6. クラウドオプション Lite で管理できていることを確認」に進んでください。

.

【既存お客様向け】

A-2-1. オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成 【管理サーバー側作業】

クラウドオプション Lite でクライアントの管理を行うためには、EM エージェントのインストールが必要です。 すでに、クライアント用プログラムをご利用の方は ESMC で作成した EM エージェントインストール用の exe ファイルを実行することで、クラウドオプション Lite で管理を行うことが可能です。

以下に、オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、[危険性を承知で続行]ボタンをクリックします。

1	警告: 潜在的なセキュリティリスクあり
Fi ار	refox はセキュリティ上の滞在的な毎歳を検知したため、52.196.136.35 への凌続を中止しました。このサイトに訪問すると、攻撃者が スワードヤメールアドレス、クレジットカードの草織な博報を出み取るうとする恐れがあります。
I	ラーの設明
	反る(推美) 詳細情報」
	9ェプサイトは証明書で同一性を証明します。52.196.136.35 は無効な証明書を使用しているため、Fixefox はこのサイトを信頼しません。 エラーコード: MOZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT 証明書を確認
	度る(推奨) 危険性を承知で統行

※ここでは、ESET Security Management Center インストール時に作成したセキュリティ 証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。 ※お使いのブラウザによっては、表示内容が異なります。 2. 「**3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備**」で確認した①「ESMC ログイン名」、②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④[ログイン]ボタンをクリックします。

(eset) S	ecurity manage	EMENT CENTER	
ログイン			
1			
2 A 127-K			
3 • 日本語	7	Ŧ	
 ドメインユーザーと マルチタブでのセッ 	:してログイン :ションを有効化		
(4) वर्षत्र गरेद	フード変更		
1.1.1.1		1 10 1 10	

3. 左メニューより、「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「オールインワンインストーラー」をクリックします。



 「パッケージの内容」で「管理エージェント」にのみチェックが入っていることを確認し、[続行]ボタン をクリックします。
 ※ここで「完全ディスク暗号化」にチェックを入れないようご注意ください

オールインワンインストー インストーラー >オールインワンイン	ラーの作成 ストーラーの作成
基本 ▲ セキュリティ製品 完全ディスク明号化 証明書 ▲ 詳細 ダウンロード	 ✓ 割品改善プログラムに参加する 有効にすると、クラッシュレポート、およびOSバージョンやタイプ、ESET製品 バージョン、および他の製品同用の情報といった至名のテレメトリーデータを ESETに送信しています。 パッケージの内容 管理エージェント ビキュリティ製品
	● 完全ディスク増号化
	長る 読行 読了 キャンセル

- 5. ①「ESMC 証明書」が選択されていることを確認します。
 - ② ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 ※~まで有効。の「~」の部分が使用している証明書の有効期限です。
 有効期限のおよそ3か月前に、弊社側で有効期限が先の日付となる新しい証明書を作成します。有効期限を超過した証明書を使用した Agent は ESMC に接続できませんので、リンクをクリックして、有効期限が先の日付の新しい証明書(【グループ名】の Agent 証明書-2)が存在する場合はその証明書を選択してください。
 - ③「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」 で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。
 - ④[続行]ボタンをクリックします。

基本	
ヤキュリティ製品	
	 ESMC証明書 カスタム証明書
詳細	
	ESMC証明書)
3	証明書パスフレーズ ^③
	証明書パスフレーズを表示
	展る 株行 株7 キャンセル

- 6. ①「名前」には任意のインストーラー名を入力します。 ※「説明」に入力は任意です。 の「親グリーブ(任意)」では「謬捉」を欠しいクレーズ利用開始時に提供されている際
 - ②「親グループ(任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されている既定の グループを必ず選択してください。
 - ③[ESET AV Remover を有効にする]に**チェックが入っていない**ことを確認します。チェック が入っていた場合は外してください。





「親グループ(任意)」を選択しないと、クライアントが管理サーバーに表示されません。必ず選択を お願いいたします。

また、親グループに「すべて」を選択することはできません。

7. 「インストーラーの初期設定」の「設定テンプレート」では、以下を参考に設定します。

	町中の割	いやからがませ	- ボルー エー こう	- ヽ ト セ クニ ノ		- 1.7
設定しない	成正の記	又上かり変史して	9に、エーン	エンドをクライ	アノト姉木に	コノス
	<u> </u>	る場合				
ポリシーのリストから	既存のオ	<u> </u>	きせて、エージ	エントをクライ	アント端末に	こインス
設定を選択	トールす	ス提合				
政定で選び	1 109	$\sqrt[3]{m}$			1 + +	
	×HIII	ノロキンを経	出りる場合に	にちりを選択	(しまり。	
1 組み込んだ 基本	「初朝設定は静的グループに連用されたポリシーで置換され;	ます。 				
セキュリティ製品 設定テン	プレート					
証明書 ○ 設定し	ない					
○ ポリシ	/一のリストから設定を選択					
ダウンロード エージェ:	ント設定(任意)	「日本海道」ティビナル				×
選択		WHY ENOUGHEST				
サーバー・	ホスト名(またはサーバーのIPアドレス)	<u>99.</u> ▼ <u>7<1,95kd/s</u>]			JUENEY O
		405-444	e.#	97	22.09	۰
クライアン	・トから接続できるサーバーのホスト名を入力します。 空白(D項 LSLI Management Agent	線線 - 20分ごとに頭線(電大10,000円ン6 ノブリターションレポート・すべくのイ	2 2	私大10.000グライアントのレプリ 1511管理エージェントは、また1、	7-94. 7706
		ESET Management Agent	接続 - 60分ごとに接続(最大50.001コン)		50.000コンビューターを超えるネ	w HO
		ESET Management Agent	#第一の形ごとに創め発売の時間、開き いたいたち たいかいがい 5 - 「新いー」	ŧ	エージェントの規定のレプリケー	ション時 10 F 1
222					100,000,000,000,000,000,000,000,000,000	2109 p.u.
H TO-7C	日本や設定	→ →				
HITP2	プロキシ設定を有効にする					
戻る	読行 終了 キャンセル					
		1			ok	Ŧr>en

 ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の 準備」で確認した「ESMC サーバーの IP アドレス」を入力してください。
 ②「ポート」にポート番号「2222」が入力されていることを確認します。
 ③[終了]ボタンをクリックします。

H +	i 組み込んだ初期設定は静的グループに適用されたポリシーで置換されます。
本本 セキュリティ製品	設定テンプレート
証明書	○設定しない
詳細	◎ ポリシーのリストから設定を選択
ダウンロード	エージェント設定(任意)
1	
	クライアントから接続できるサーバーのホスト名を入力します。空白の場合は、サーバーのホスト名が使用されます
2	ポート 2222 HTTPプロキシ設定
	□ HTTPプロキシ設定を有効にする
	展る 続行

9. インストールするクライアント端末の環境にあわせて、[32bit 版をダウンロード]または「64bit 版 をダウンロード」をクリックします。

基本	32bit版をダウンロード 64bit版をダウンロード
セキュリティ製品 証明書	
詳細 ダウンロード	>

10. ファイルの保存を促す画面が表示されたら、任意の保存先を指定してインストーラーを保存します。 ※ファイル名は、32bit 用のオールインワンインストーラーの場合

、ノバイル名は、32DIL用のオールイノフノイノストーフーの場合
「ESMC Installer x86.exe」、64bit 用のオールインワンインス
トーラーの場合「ESMC_Installer_x64.exe」です。

5		リポシトリからインストーラーをタ ラーを準備しています 売了	ウンロードしてォールインク	× ۲>۲>۲>۲-		
ESMC_Installe 場所:	r_x86.exe (64.3 MB)	について行う操作を選んでください。	実行	保存	へ キャンセル	×



ご利用のネットワーク環境によって、オールインワンインストーラーのダウンロードに時間がかかる場合 があります。 プログレスバーが動かない場合でも、プログラムのダウンロードを行っていますので、しばらくお待ちくだ さい。

11. 下の画面が表示されたら、[実行しない]ボタンを選択してください。



※アプリ名はダウンロードするインストーラーによって異なります。

12. 終了したら[閉じる]ボタンをクリックします。



以上でオールインワンインストーラーの作成は完了です。

手順 10 で指定した場所に、オールインワンインストーラーが保存されていることを確認し、クライアントに配布してください。

A-2-2. オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の実行 【クライアント側作業】

オールインワンインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェントをインストールします。 以下にオールインワンインストーラーの実行手順を記載します。

1. オールインワンインストーラーを右クリックして、「管理者として実行」をクリックします。

BACI 開く(O) G理者として実行(A) 互換性のトラフルシューティング(Y) スタートにピン留めする(P) Windows Defender でスキャンする ビ 共有 アクセスを許可する(G) メカク バーにピン留めする(K) 以前のパージョンの復元(V) 送る(N) ジョートカットの作成(S) 削除(D)	e	
ビ	ESMC I	開く(O) 管理者として実行(A) 互換性のトラフルシューティング(Y) スタートにピン留めする(P) Windows Defender でスキャンする
送る(N) 切り取り(T) コピー(C) ショートカットの作成(S) 削除(D)	Ŕ	共有 アクセスを許可する(G) > タスク バーにピン留めする(K) 以前のバージョンの復元(V)
ショートカットの作成(S) ^{創現金(D)}		送る(N) > 切り取り(T) コピー(C)
イボホ(D) 名前の変更(M) プロパティ(R)		ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) プロパティ(R)

2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。

^{ユーザー アカウント制御} この不明な発行元からのフ 加えることを許可しますか?	× アプリがデバイスに変更を
ESMC_Installer_x64.exe 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター	上のハード ドライブ
詳細を表示はい	いいえ

3. 以下の画面が表示され、アプリケーションが起動します。



4. [Continue]ボタンをクリックします。

		- ×
PACKAGE	Install Components	?
INSTALLER Wekome Installation Finish	(i) This computer will be managed remotely Server: Group: すべて	
	The following components are included in this installer ESET Management Agent 7.2.1267.0 Configuration: HTTPプロキシ経由ポリシー (EMエージェント)	
	Continue	

5. 以下のような画面が表示され、自動的にインストールが進みます。



6. 「Installation successful」画面が表示されたら、[Done]ボタンをクリックして ください。



以上で、EM エージェントのインストールは完了です。 続いて、「6. クラウドオプション Lite で管理できていることを確認」に進んでください。

B)Mac、Linux 端末への展開



Web ブラウザからクラウドオプション Lite の ESMC にアクセスし、クライアントの管理状況を確認します。

B-1-1. クライアント用ブログラムのインストール【クライアント側作業】

各クライアント端末に ESET クライアント用プログラムをインストールします。

インストール方法につきまして、ユーザーズサイトよりダウンロード可能な各プログラムのユーザーズマニュアル をご参照ください。



【HTTP プロキシを経由する場合】

インターネット接続にプロキシサーバを経由する場合は、以下を参照しプロキシサーバ設定を行って ください。 詳細は、各プログラムのユーザーズマニュアルやオンラインヘルプをご参照ください。

◆Mac クライアント用プログラム 「詳細設定」→「プロキシサーバ」

◆Linux サーバー用プログラム(V7.2 以降の場合) Web インターフェースより、「ツール」→「プロキシサーバ」

◆Linux クライアント用プログラム ESMC のポリシー「ESET Endpoint for Linux(V7+)」の「ツール」→「プロキシサーバ」

B-1-2. エージェントライブインストーラーの作成【管理サーバー側作業】

クラウドオプション Lite でクライアントの管理を行うためには、クライアント用プログラムのほかに EM エージェントのインストールが必要です。EM エージェントをインストールするには、EM エージェントインストール用の sh ファイル「エージェントライブインストーラー」を利用します。

以下に、オールインワンインストーラー(EM エージェントのみ)の作成手順を記載します。

1. Web ブラウザより、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した 「Web コンソール(管理画面)ログイン用 URL」にアクセスします。

以下の画面が表示されますので、[危険性を承知で続行]ボタンをクリックします。

1. 1	警告・潜在的なヤキュリティリスクあり
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	コーム・ノーローレーン 3
I	[5-0說明
	展る(推奨) 詳細情報…
	クェプサイトは証明書で同一性を証明します。52.196.136.35 は無効な証明書を使用しているため、Firefox はこのサイ トを信頼しません。 エラーコード: MOZILLA_PKIX_ERROR_SELF_SIGNED_CERT
	至明音を確認
	页5 (描美) 危険性を承知で統行

※ここでは、ESMC インストール時に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面 アクセス時に上記の注意画面が表示されます。 ※お使いのブラウザによっては、表示内容が異なります。 2. 「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④[ログイン]ボタンをクリックします。

(ESET) SECURITY MANAGEMENT CENTER	
ログイン	
	TUN
2 A 127-F	
 3 日本語 ドメインコーザーとしてログイン 	
✓ マルチタブでのセッションを有効化	
(4) ログイン パスワード変更	
へルプを開く © 1992 - 2018 ESET, spol. s r.o All rights reserved.	

3. 左メニューより、「インストーラー」→「インストーラーの作成」→「エージェントライブインストーラー」 をクリックします。

eser	SECURITY MANAGE	MENT CENTER			
	ダッシュボード	インストーラー	+	アクセスグループ 選択 箇 タグ	
G	コンピューター	タグ	Q	名前	タヴ
▲	検出				
	レポート				
	タスク				
Ľ	インストーラー				
	ポリシー				
	コンピュ- タユーザー				
	通知	∕ ·h			
	ステータン 概要	\bigtriangledown			
	詳細 >	ここでは、適用されたタグのリストを確 認し、すばやくフィルタリングできま す。			
	折りたたみ			日 オールインワンインストーラー 日 エージェントライブインストー 日 GPOまたは S2 MXクリプト	
	31.71.1.07			4.0X1-9-0/fm. ▼	

- 4. ①「ESMC 証明書」が選択されていることを確認します。
 - ② ESMC 証明書に証明書が登録されていることを確認します。
 ※~まで有効。の「~」の部分が使用している証明書の有効期限です。
 有効期限のおよそ3か月前に、弊社側で有効期限が先の日付となる新しい証明書を作成します。有効期限を超過した証明書を使用した Agent は ESMC に接続できませんので、リンクをクリックして、有効期限が先の日付の新しい証明書(【グループ名】の Agent 証明書-2)が存在する場合はその証明書を選択してください。
 - ③「証明書パスフレーズ」には、「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」 で確認した「証明書パスフレーズ」を入力します。
 - ④[続行]ボタンをクリックします。

証明書 コンフィグレーション ダウンロード	 ✓ 製品改善プログラムに参加する 街窓にすると、クラッシュレポート、およびOSJ(ージョンやタイプ、EST製品 バージョン、および他の製品局等の債績といった既名のテレメトリーデータを EST(に送信しています。
	ビア証明書 1 ● ESKC証明書 フスタム証明書
	経明書/スフレーズ ○
	展る 続行 携行 洋ヤンセル

①名前を入力します。
 ※説明の入力は任意です。
 ②「エージェント設定(任意)」の「設定テンプレート」では、以下を参考に設定します。

設定しない	既定の設定から変更せずに、エージェントをクライアント端末にインス トールする場合
ポリシーのリストから 設定を選択	既存のポリシーを適用させて、エージェントをクライアント端末にインス トールする場合 ※HTTPプロキシを経由する場合はこちらを選択します。

				_			
証明書	(1)	名前					
コンフィグレーション		エージェントライブインストーラ	_				
	ľ	此明					
		タグ	項目を選択してください				×
		エージェント設定(任意)	90				Juzaka C
		選択	ポリシー観話	£.iii	97	309	۲
		サーバーホストム、またはサーバー	-d ESET Management Agent	接続 - 20分ごとに接続)最大10,000コンピューターのネー		最大10,000クライアントのレプリケーショ	=>00% F
		WILL OLTOPOCCUPI	ESET Management Agent	アプリケーションレポート・すべてのインストールさ		ESET管理エージェントは、(ESETアプリケ	ーションだけ
		VUTUTOBRCC SU-T-C	ESET Management Agent	接続 - 60分ごとに接続)意大50,000コンピューターの不		50,000コンピューターを担えるネットワー	ークに推奨さ
		-14 L	ESET Management Agent	接続 - 10日ごとに接続預定の登場、原間局間にのみ用。		エージェントの競走のレプリケーション	間間は、ESMC
		<u>ж</u> -Г	ESET Management Agent	HTTPプロキシ経由ポリシー(EMエージェント)		HTTPプロキシを経由するためのプロキシ	治定
		2222					
		親グループ(任意)					
		運訳					
		新しい静的グループ					
		反る 統行 終了					
			7				
							ox キャンセル

- ①「サーバーホスト名(またはサーバーの IP アドレス)」に「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の 準備」で確認した「ESMC サーバーの IP アドレス」を入力してください。
 ②「ポート」にポート番号「2222」が入力されていることを確認します。
 - ③「親グループ(任意)」では、[選択]をクリックし、ご利用開始時に提供されている既定のグル ープを必ず選択してください。
 - ④HTTP プロキシをご利用の場合は[HTTP プロキシ設定を有効にする]に必ずチェックを入れてください。

※エージェントをインストールする際にプロキシを経由する場合の設定となります。 ⑤[終了]ボタンをクリックします。

证明書			
コンフィグレーション	90		
	タクを選択	項目を選択してくたさい	~
	エージェント設定(任意)		~
	HTTPプロキジ経由ホリシー (BMエージェント) X		
U	サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)	∧ ∉∧⊂ (4)	
	V		
3	#_b	The set (0)	
(2)	2022		
_	2222		
3	親グループ(任意)		
Ŭ	win		
	新しい御的グループー		
	HTTPプロキシ設定	□ アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出	
•	 HTTPプロキシ設定を有効にする 		
	88 80 ar>to		キャンセンレ

「親グループ(任意)」を選択しないと、クライアントが管理サーバーに表示されません。必ず選択を お願いいたします。

また、親グループに「すべて」を選択することはできません。

ご利用の OS に応じて、「Linux 用エージェントインストーラ」または「Mac 用エージェントインストーラ」をダウンロードします。
 ※「ESMCAgentInstaller.tar.gz」がダウンロードされます。

証明書 コンフィグレーション タウンロード	ダウンロードするパッケージ Windows用エージェントインストーラ ダウンロード
	Linux用エージェントインストーラ ダウンロード Mac用エージェントインストーラ ダウンロード

ダウンロードが完了したら、各クライアントに配布し実行します。

B-1-3. エージェントライブインストーラーの実行【クライアント側作業】

エージェントライブインストーラーを各クライアント端末上で実行し、EM エージェントをインストールします。

実行手順につきましては、ユーザーズサイトからダウンロード可能な「ESET Security Management Center V7.2 ユーザーズマニュアル」の「エージェントライブインストーラーの実行(P227)」より、使用する OSの実行方法をご参照ください。

以上で、EM エージェントインストールは完了です。

続いて「6. クラウドオプション Lite で管理できていることを確認」に進んでください。

6. クラウドオプション Lite で管理できていることを確認【管理サーバー側作業】

ESMC でクライアント端末の管理ができていることを確認します。

以下に、クライアント管理の確認手順を記載します。

1. 「3.6.ライセンス情報・ログイン情報の準備」で確認した①「ESMC ログイン名」、②「ESMC ログインパスワード」を入力し、③「日本語」を選択して、④[ログイン]ボタンをクリックします。

	eser SECURITY MANAGEMENT CENTER	
	ログイン	
NUE CON		ITIM
	2 A 177-F	
	3 • 日本語 •	
	 ドメインユーザーとしてログイン マルチタブでのセッションを有効化 	
	④ ログイン パスワード変更	1.10
	ヘルプを照く ◎ 1992 - 2018 ESET, spol. s r.o All rights reserved.	

「コンピューター」のクライアントの一覧画面よりクライアントが表示されていることを確認してください。
 ※クライアント展開時に指定した静的グループをご確認ください。



3. 管理対象クライアント端末のステータスが黄色や赤色になっている場合、クライアント側でエラー (検出エンジンがアップデートされていない、アクティベーションされていない)が発生している可能性 があります。詳細を確認し、ご対応ください。



コンピューター名を実際のコンピューター名に変換する場合は、「サ―バータスク」の「コンピューター 名の変更」タスクをご使用ください。 タスクのご使用方法は ESET Security Management Center V7.2 ユーザーズマニュアルよ り、「8.9.30 コンピューター名の変更(P479)」をご確認ください。

完了

以上でクラウドオプジョン Lite でのクライアント端末の管理は完了です。

その他、ESMC の操作方法につきましては、「ESET Security Management Center V7.2 ユーザ ーズマニュアル」を参照し、クラウドオプション Lite をご利用ください。

【参考】クライアント端末の詳細情報確認

1. 「コンピューター」の一覧より、任意のクライアントコンピューターをクリックし、メニューから「詳細を 表示」を選択します。

(1887)	SECURITY MANAGEMENT	CEP	ITER	
	コンビューター		▲ 8 ✓ 0 State Jackson	7069 k 👳
돠	ク ループ	v	 ニコンビューター名 	27- 5
▲ 48084°÷;	ヘ □ #ベC (3) ヘ □ AUR1-39 (5) □ 著しい場号ジループ (3)	8	Accol-498 (5)	~ 0 ~
			 ③ グループに存在。 章 総称。 本 ニュート ③ ミュート(研) ① ミュート(研) ① バル地図 マ アクション マ ニュート マ 	

2. 該当クライアントの詳細情報が表示されます。こちらの画面で検出エンジンのバージョン、OS 情報、ESET 設定などが確認できます。

eser	SECURITY MANAGEMENT CEN	ITER			
	< 戻る コンピューター > 🖵 😌 de	sktop-jsruoqu			
돠	1 概要				
▲ ※ ₽ 11 © × ¢ ;	 ◎ コンフィグレーション ○ ログ > タスクの実行 ④ インストール済みアプリケーション ✓ ▲ アラート ? 質問 ※ 脅威と隔離 … 詳細 	マリクション FQDN 親グループ IP 通用されたポリシー数 ダイナミックグループの メンバー	/すべて/LOST-FOUND / パペて/Mindows コンピューター / パペて/Mindows コンピューター / パペて/Mindows コンピューター / パペて/Windows コンピューター	ows (7	Microso VMware, In S/N VMwa
··· >		注意が必要で アラート 未解決の贪威数 向回の放送時間 検出エンジン 更新 更新	ます をクリックすると、リストを表示します 		
Ð	閉じる コンピューター マ	保存 ハードウェア マ	7		

また、ユーザーズサイトでご提供している機能説明資料なども合わせてご参照 いただき、クラウドオプション Lite をご利用ください。

- ■ユーザーズサイト https://canon-its.jp/product/eset/users/
- ※機能説明資料はユーザーズサイトの[プログラム/マニュアル]の 「製品説明資料・各種手順書」より以下のファイルをダウンロードください。
- ・Windows / Windows Server 向けクライアント用プログラム(V9.x) 新機能紹介資料
- ・Windows / Windows Server 向けクライアント用プログラム(V8.x) 新機能紹介資料
- ・Windows / Windows Server 向けクライアント用プログラム(V7.x) 新機能紹介資料
- ・Mac 向けクライアント用プログラム(V6.x)新機能紹介資料
- ・Linux Desktop 向けクライアント用プログラム(V9.X)機能紹介資料
- ・Linux Desktop 向けクライアント用プログラム(V8.X)機能紹介資料
- ・Linux Server 向けクライアント用プログラム(V9.x)機能紹介資料
- ・Linux Server 向けクライアント用プログラム(V8.x)機能紹介資料
- ・Linux Server 向けクライアント用プログラム(V7.x)機能紹介資料
- ·ESET Security Management Center V7.x 新機能紹介資料

また、弊社 ESET サポート情報ページにて、製品機能・仕様・操作手順などの 情報を公開していますので、ご利用ください。

■ ESET サポート情報 法人向けサーバー・クライアント用製品 https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=business

ご不明な点などがございましたら、上記 Web ページをご確認いただくか、 下記 Web ページより弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口(サポートセンター) https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business